

002

哲学初歩 (41)

哲学と私 (3)

講座内容

哲学とつきあい始めて50年以上たちました。その間、印象に残ったことを語ってみたいと思ったのですが、そう簡単ではないことに気がつきました。ところで、ご質問は大歓迎です。

期 間	4月30日～7月30日	受講料	8,000円
曜 日	木曜日	定 員	40名 ※最少催行人数10名
時 間	14:00～16:00	会 場	関内アカデミック・リサーチセンター
回 数	全4回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が配布資料を用意します。		
備 考	●この講座は4月22日(水)までに中止の連絡が無ければ開催となります。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	4月30日 (木)	荘子の思想 荘子の語る、含蓄の深い寓話の意味を考え、合わせて東西の哲学を比較します。
2	5月28日 (木)	宗教と哲学 宗教と哲学との関係を見ながら、それらの根源に向かいます。
3	6月25日 (木)	自然科学と哲学 近代自然科学がもたらした近代啓蒙思想の現在を問い、AIの深刻な問題を考えます。
4	7月30日 (木)	言葉の哲学 哲学は言葉を用いて行います。このとき言葉は哲学にどのような影響をもたらしたでしょうか。

講師紹介



杉田 正樹(すぎた まさき)

本学名誉教授

このところずっと、言語の哲学に強い関心をもっています。哲学の営みも、広く人間の営みも、言語なしでは在り得ません。沈黙することすら、言語があって始めて成り立ちうるのです。